

端午（中日对照）PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/252/2021_2022__E7_AB_AF_E5_8D_88_EF_BC_88_E4_c105_252012.htm 端午は、中国でもっとも有名で、な祝日の一つです。その由来について、いくつかのがありますが、普遍に受けられているのは、屈原のです。年の五月五日は、中国の端午です。これを祝うために、人はドラゴンボートのレースをし、粽を食べ、雄黄酒を飲んで、屈原を念じます。ほかに、家の前におとこよもぎをさし、子供に五色の糸をぶなどのがあります。では、屈原の死後、楚国の人は非常に悲しんで、みんな江のゆとりにきて屈原を送りにきました。夫たちは船にって、江のあちごち探して、屈原の体をつけようとしていました。ある夫は、屈原に持ってきたおにぎりや卵を江に投げみました、などに、これらを食べて、もう屈原の体を食べないように。みんなはこれをて、同じことをしました。あるお医者さんは、雄黄酒を一缶江に流しみました、ドラゴンをわせ、もう屈原に害を与えないためだといいました。その後、おにぎりがドラゴンに食べられないように、ある木のでごを包み、外で彩色の糸でび、粽になりました。今は、木ではなくて、ので包んでいます。族のでは、神さんが人になり、人に降りて、油をっていました。「一缶で2、二缶で3」と叫び、みんなは急いで彼の油をいにきました。ただ一人のおじいさんは、それをわずに、化けた神さんに「算がえた」といって去りました。後で神さんはあのおじいさんをつけて、神たちはを下すといいました。おじいさん

に、おとこよもぎを家の前にさして、事ですむことができるといいました。でもおじいさんは善良で、それをみんなに言いました。みんなの家の前におとこよもぎがさされているのをみて、神さんは、を下すことができなくて、あきらめてしまいました。それからみんなは端午のとき、いつもおとこよもぎを家の前にさし、を除けると信じています。子供が五色の糸をぶのも、病を除けるためです。ぶときは、子供がすのは禁止です。んだ後も、それをきることも、とることもできません。初雨か、おに入るときに、それを川に投げみます。川に、病を持っていこうと祈ります。日本にも「端午の句」がありますが、中国からわってきたもので、本来、武士（ぶし）たちが大事にしていた祝日でした。明治以来、を止し、の五月五日を端午とし、定休日になりました。武士とはがなくなって、子供の日となりました。日本ではこの日に、男の子を持っている家では、のぼりをけ、武士の人形や柏を家の中に置きます。地方では、柏や粽を食べることもあります。ただし、中国の粽は日本とはって、三角形で、ピラミッドのような形をしています。は、中国にせよ、日本にせよ、端午はただの形式になっています。都市に住んでいる人にとって、ただ定休日が一日伸ばされて、柏をうだけです。中国の状は、普通、定休日もないようです。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com